

3

社会実験の実施



1 社会実験の概要

まちなかの回遊性向上に向け、臨時交通規制とあわせたまちなかの空間整備やイベントを行う社会実験を実施しました。社会実験の効果を検証し、今後の整備や活動に向けた計画に反映します。

社会実験：古賀駅前まると遊び場プロジェクトの概要

2023年の社会実験「古賀駅前まると遊び場プロジェクト」は、まちなかを安心して回遊できる環境づくりに向け、12日間の臨時交通規制を行う「交通社会実験」と、週末の魅力的なまちかど空間づくり、地域の団体と連携したイベント実施を行う「沿道利活用社会実験」の2つを同時期に実施しました。



【実施概要】

プロジェクト名：
古賀駅前まると遊び場プロジェクト

交通社会実験：
2023年11月15日（水）～26日（日）（12日間終日）

沿道利活用社会実験：
2023年11月25日（土）10:00～17:00

■交通社会実験（11/15～11/26実施）

通過交通を抑制する臨時交通規制（駅前ロータリー化）

- 古賀駅西口の駅前広場と交差点を、一方通行のロータリーと同様の交通ルートとし、南側方面への進入を禁止することにより、駅前への自動車の通過交通を抑制。
- 自動車の通過交通の抑制により、歩きやすいまちなか環境の創出を目指した。



■沿道利活用社会実験（11/25実施）

まちかどのにぎわい創出

- 点となる複数のまちかどを中心に、にぎわい創出のための出店や環境構築、イベントを実施。

まちなかへの回遊を促すにぎわいづくり

- まちなかの回遊を促すため、地元店舗等と連携し、まち歩きイベントを実施。



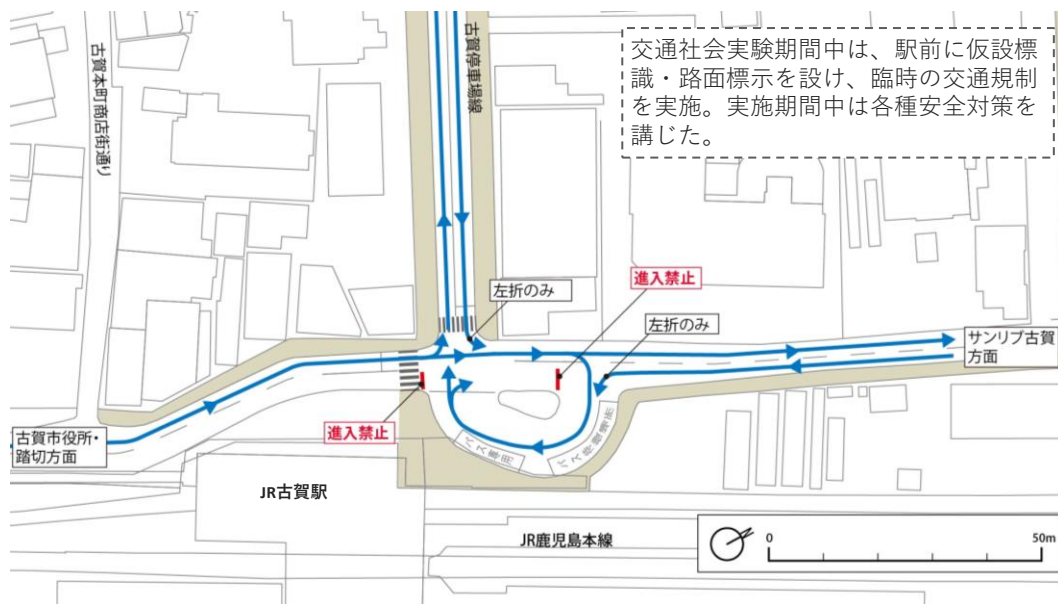
交通社会実験の概要

通過交通を抑制する駅前広場整備と交通体系の再編に向け、暫定的に駅前広場をロータリー化、一部道路を一方通行・進入禁止とし、効果を検証しました。

交通社会実験（11/15～11/26実施）

駅前広場整備に向けた通過交通を抑制する交通パターン（駅前ロータリー化）

- 古賀駅西口の駅前広場と交差点を、一方通行のロータリーと同様の交通ルートとし、南側方面への進入を禁止することにより、駅前への通過交通を抑制する。



社会実験期間中の自動車交通想定ルート



※社会実験期間中の後半の平日1回に、3カ所の交差点交通量調査、ナンバープレート調査を実施することにより、社会実験による通過交通の抑制効果や周辺への交通の影響について検証。

実験期間中の様子（交通社会実験）



駅前ロータリー化による通過交通の抑制

社会実験期間中は、仮設の道路標識・路面標示や案内看板、その他安全のための工作物を設置し、交通誘導員を配置して自動車を誘導しました。



設置された仮設標識・看板。



期間中は北側からの交通はロータリー内で転回。



雨天時の夕方は電車到着にあわせて迎え待ちの車両が多く発生し、ロータリーに混雑が発生。電車の到着毎に車両は掃け、長時間の停車は少なかった。



時間帯規制中の線路沿い道路の様子。車両の通行がほぼないため、歩行しやすい状況がみられた。

沿道利活用社会実験の概要

歩行者の移動の結節点となるまちかどに広場環境を整え、そこでマルシェや売店等を設けるとともに、アーバンスポーツ体験会や、地元店舗等と連携したまち歩きイベントを実施することにより、まちなかの滞在性と回遊性の向上を目指しました。

沿道利活用社会実験（11/25実施）

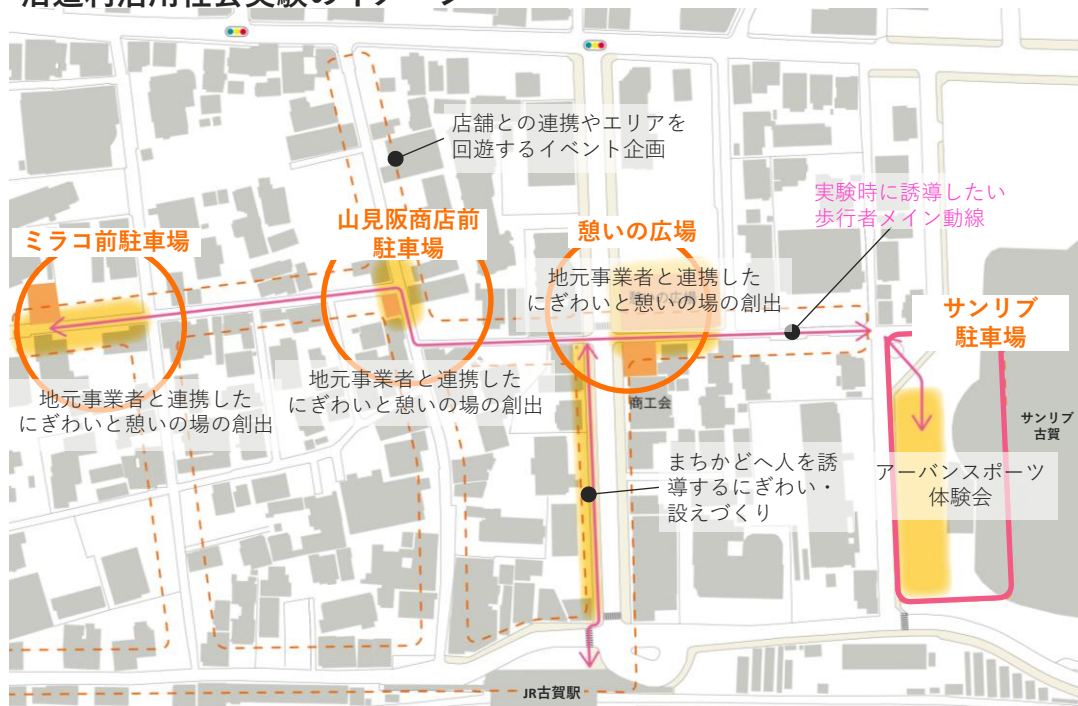
まちかどのにぎわい創出

- ・整備基本方針で示す重要となるまちかどを中心に、にぎわい創出のための出店や環境構築を実施。

まちなかへの回遊を促すにぎわいづくり

- ・まちなかの回遊を促すための、にぎわいをつなぐ沿道の利活用や設えづくり、まち歩きイベントを実施。

沿道利活用社会実験のイメージ



まち歩きイベント

商店街にまちかどスペースを設置し、商店街の店舗や当日出店店舗（20店舗以上）をめぐるまち歩きイベントを開催。チケットを購入し、各店舗でお得な商品を購入できる。

実験期間中の様子（沿道利活用社会実験）



■ まちかどの魅力づくり

憩いの広場周辺と駐車場2カ所の3カ所に、仮設ベンチや人工芝、テーブル等を設え、マルシェや売店等を設けることで、歩行者の結節点として滞在性を高めました。



憩いの広場の環境づくり、仮設ベンチ等を設置



憩いの広場内でのマルシェ



ミラコ前駐車場を活用した広場



山見阪商店前駐車場を活用した広場

■ サンリブ駐車場：アーバンスポーツ体験会

古賀駅西口の北側の核となるサンリブ古賀において、駐車場を利用しアーバンスポーツ体験会を実施。多くの参加者がスケートボードやBMX、インラインスケートを楽しみ、駐車場活用のポテンシャルを確認できました。



イベントポスター

アーバンスポーツ体験会の様子

■ まち歩きイベントでの地元店舗との連携

地域の店舗や団体と連携し、参加店舗で利用できるチケットを販売、まちなかをめぐって飲食や買い物等を楽しんでもらうまち歩きイベントを実施しました。まちなかに点在する店舗をめぐることによって、地域全体での回遊性を高めることを意図しました。



まち歩きイベント参加店舗の様子

■ まちなかの歩行者の様子

まちかど空間の魅力づくりとアーバンスポーツ体験会やまち歩きイベントの同時実施により、多くの歩行者がまちなかを楽しく回遊する様子がみられました。



社会実験期間中の沿道の様子

2 社会実験の検証

社会実験の結果、まちなかへの通過交通の減少、歩行者の回遊やポジティブな活動が確認され、歩きやすい環境づくりやイベントに対して高い評価を得ました。

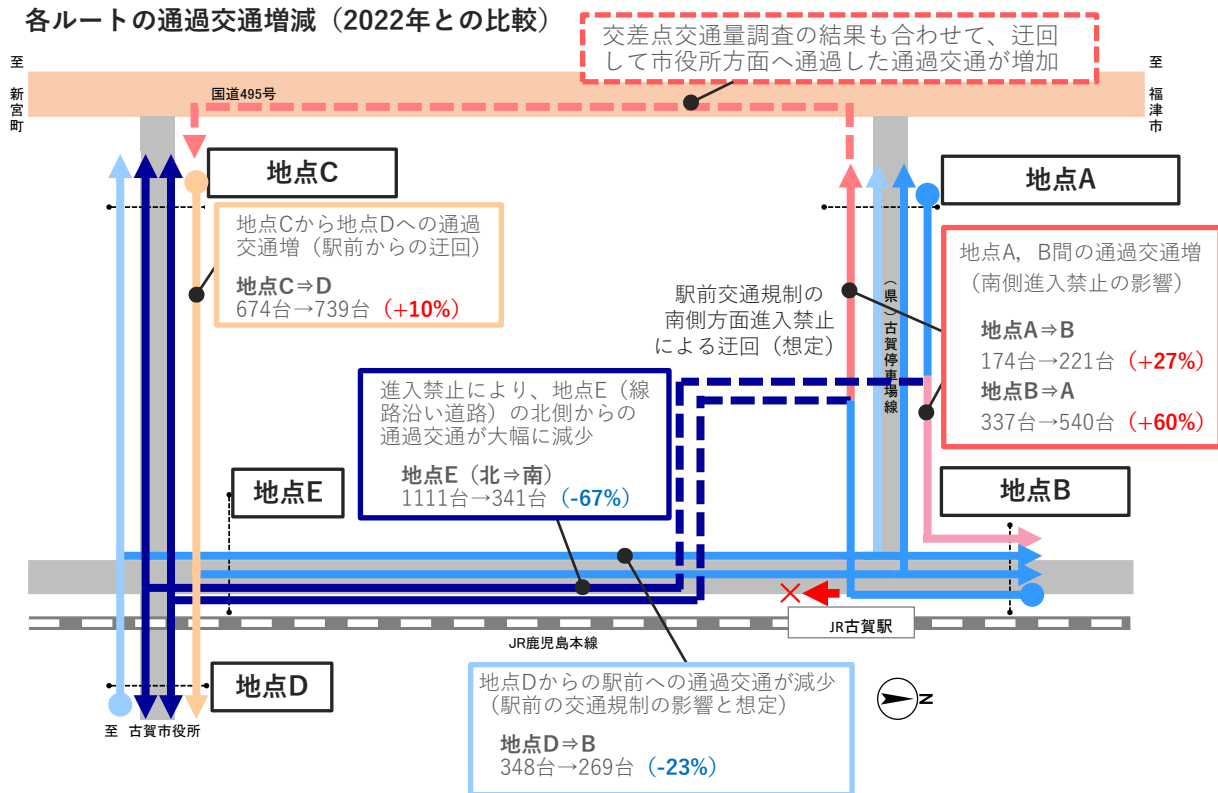
交通社会実験（交通調査）

交通社会実験期間中、前年度と同様のナンバープレート調査を実施し、自動車の交通ルートと交通量を調査しました。

古賀駅前の南側進入禁止により、多くのルートで大幅に通過交通が減少しました。

古賀停車場線や国道495号において、古賀駅前から迂回して古賀市役所方面へ向かう通過交通と想定される自動車交通の増加はありましたが、解析の結果、交差点処理上の問題はありませんでした。

各ルートの通過交通増減（2022年との比較）



2022年からの増減（%）

- ➡ 50%以上減
- ➡ 10～50%減
- ➡ 0～10%減
- ➡ 0～10%増
- ➡ 10～50%増
- ➡ 50%以上増

ナンバープレート調査

調査日：2023年11月21日（木）
 ※前年度調査2022年12月1日（木）

時間帯：7:00～19:00

対象箇所：地点A～E

調査方法：対象断面を通過する車両の観測時刻、車種分類番号、車両番号を方向別にICレコーダーに録音し集計。車両が通過した2断面をマッチングすることで、車両が移動したルートおよび時間を整理。移動時間10分以内の車両を通過交通扱いとした

沿道利活用社会実験（歩行者行動調査）

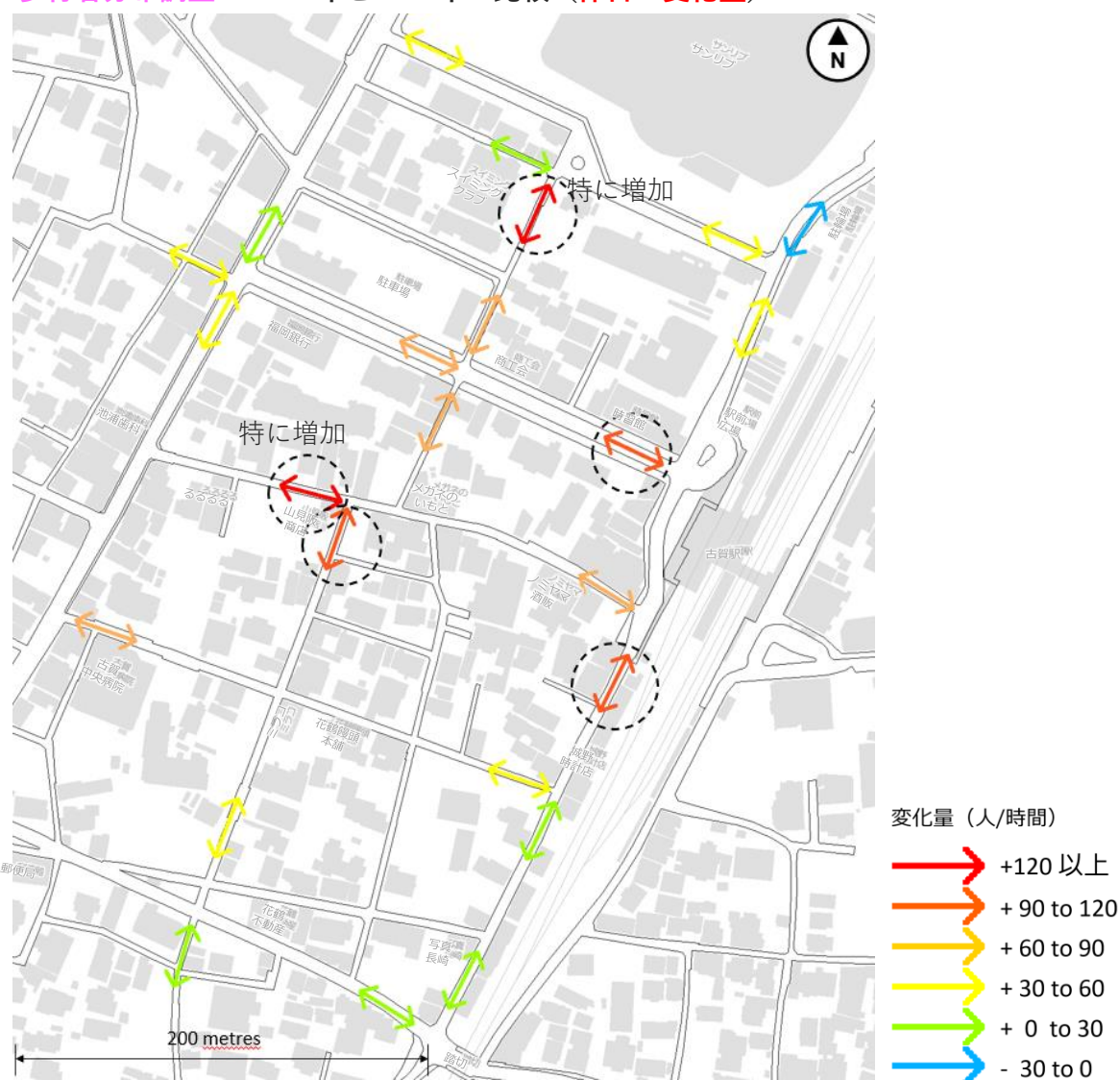
社会実験期間中、前年度と同様の歩行者行動調査を実施し、まちなかの歩行者の行動を調査しました。

沿道利活用社会実験実施日の休日には、まちなかの多くの道路で人通りが増え、立ち寄り、立ち止まり行動や滞留行動が増加し、屋外空間においてポジティブな様子が確認されました。

歩行者分布（ゲートカウント）

平日は全体として前年度から大きな変化はみられませんでした。休日はイベントの効果等によって、前年度調査と比べて、1時間当たり100人以上、商店街や南北動線の人通りが増加しました。

歩行者分布調査：2022年と2023年の比較（休日の変化量）



[概要]

調査日：2023年11月24日（金）25日（土）（前年度 2022年11月11日（金）12日（土））

※上記図は2023年11月25日（土）と2022年11月12日（土）の比較

時間帯：9:00～18:00

方法：ゲートカウント5分法によるサンプリング調査、6時間帯の平均値の差分（2023値-2022値）

歩行行動（トレース）

サンリブ古賀からまちなかにかけての南北方向の歩行者回遊の軸が強まるとともに、広場やまちかどにおいて立ち寄りや立ち止まりといった行動を確認できました。

[憩いの広場]



[商店街]



観察開始起点

立ち止まり行動

- 迷い（見渡す、案内板、道を尋ねる）
- 危険行動（自転車、自動車等に近づく）
- 楽しみ（写真、お店を見る、飲食）
- その他（信号待ち、バス待ち、荷物整理等）
- 買物（買い物をする、店舗を覗く）

[概要]

調査日：2023年11月24日（金）
11月25日（土）

時間帯：9:00～18:00

方法：トレース法により、歩行者の移動軌跡及び立ち止まり行動を記録したもの

滞留行動（スナップショット）

普段は駅前広場でのバス待ち以外、あまり滞留行動はみられませんが、社会実験時には、憩いの広場や商店街等を中心に、滞留行動が増加し、特に会話や飲食等、人とのコミュニケーションや、屋外空間での時間を楽しむ様子がみられました。

滞留状況

- 座っている
- △ 立っている

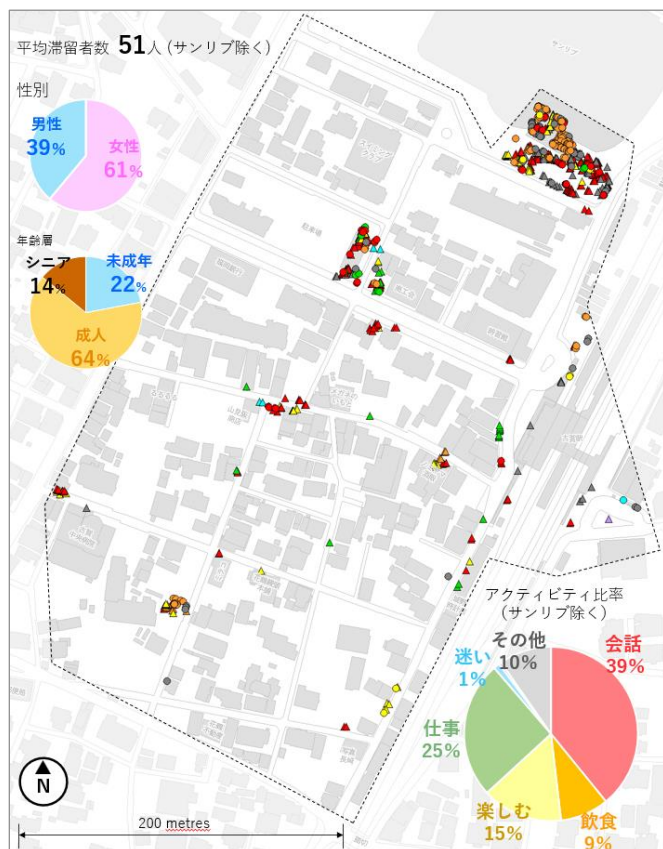
行動

- 話している
- 飲食している
- 楽しむ（買い物/遊び/写真撮影等）
- 仕事・作業をしている
- 道に迷っている様子
- 喫煙
- その他（信号待ち/スマホ等）

[概要]

調査日：2023年11月25日（土）
（前年度2022年11月12日（土））
時間帯：9:00～18:00
方法：スナップショット法により滞留者の分布および行動を記録、1エリアあたり6回観測

2023

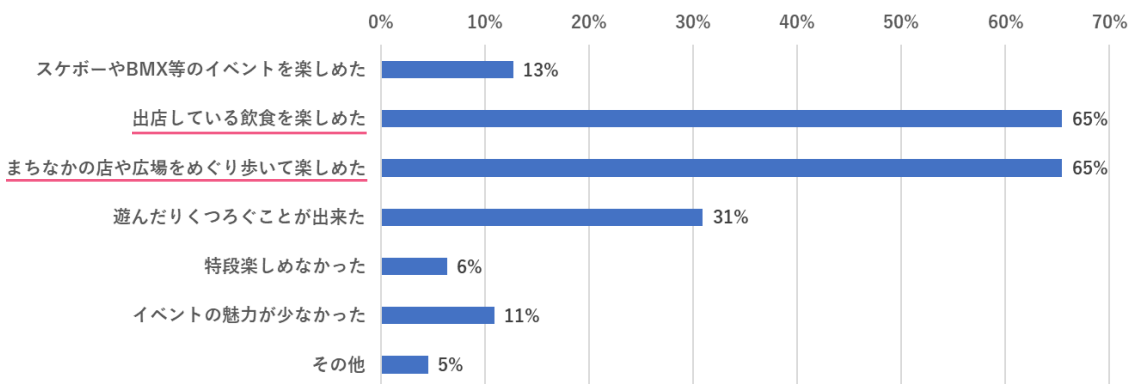


アンケート調査

まち歩きイベント参加者を対象に今回の社会実験や古賀駅西口のまちづくりについてアンケートを実施し、概ね好意的な回答を得ました。

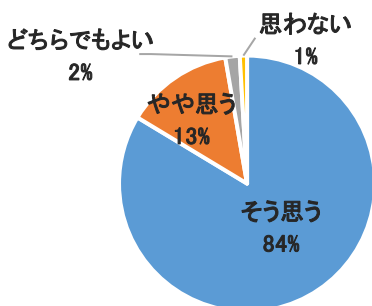
アンケート回答（設問抜粋）

Q：イベントに対する感想（複数回答可）



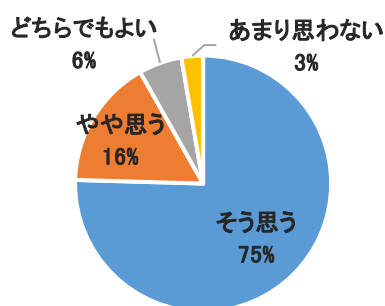
- ・ 飲食や歩いて楽しめたという感想がどちらも65%と最も高い
- ・ ネガティブな感想は多くないが11%がイベントの魅力不足をあげている

Q：広場やまちなかをめぐって楽しめるイベントを今後も継続すべきか



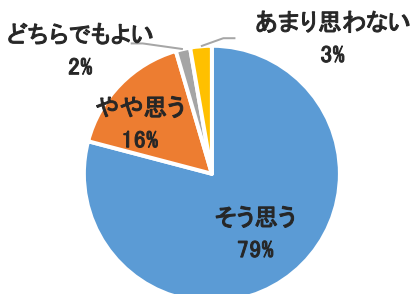
- ・ そう思う、やや思うをあわせるとイベントの継続意向を示した回答者は97%

Q：日常的に広場や休憩スペース、ベンチ等が複数あったほうがよいか



- ・ そう思う、やや思うをあわせると休憩スペースを求める回答者は91%

Q：歩行者にやさしいまちなかづくりに向けた取組みを今後も実施すべきか



- ・ そう思う、やや思うをあわせると歩行者にやさしいまちなかづくりに向けた取組みを望む回答者は95%

【アンケート概要】

実施日：2023年11月25日（土）

調査方法：QRコードを利用したWebアンケート

対象者：まち歩きイベント参加者

回収数：110票

社会実験を踏まえた計画への反映

社会実験では、まちなかでの通過交通の減少やイベント時の歩行者の回遊・滞留行動が確認でき、それらの結果を踏まえて、駅前広場やまちかどの広場、道路空間等の整備に反映するとともに、地元店舗や団体との連携を推進していきます。

